

2016 年度 大学院秋季入試（英語学専攻）

博士課程（後期）

専門科目 言語文化学

---

【合否判定の方法】

提出書類および試験、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2015 年 10 月 3 日

2 科目 言語文化学（100 点満点）

3 出題意図

本試験は、英語による論述を通じて、受験者の研究遂行能力、学術的思考力、および自己の研究を体系的に説明する能力を総合的に評価することを目的とするものである。各設問の意図は以下の通りである。

第 1 問は、修士論文の内容について記述させることで、受験者がこれまでに取り組んできた研究の主題、方法論、成果を的確に把握し、それを英語で論理的に説明できるかを評価することを目的とする。単なる要約ではなく、研究課題の設定の妥当性や学術的意義を含めて整理できているかが重視される。

第 2 問は、最近の研究活動または学術的関連業務について問うことで、受験者が継続的に研究に従事しているか、またその内容を具体的かつ客観的に説明できるかを測るものである。ここでは、研究テーマの発展性、方法の適切性、学術的関心の広がりなどが評価の対象となる。

第 3 問は、これまでの研究および現在の研究が博士課程における研究とどのように関連するかを問うことで、受験者の研究計画の一貫性および将来性を評価することを目的とする。過去の研究成果を踏まえ、博士課程においてどのような課題に取り組むのか、その論理的接続と発展可能性が明確に示されているかが重要である。

以上を通じて、受験者の英語による表現力のみならず、専門分野における研究能力、論理的思考力、および博士課程における研究遂行の適性を総合的に判断する。

以上